

★国分寺駅北口再開発にかかる市民の負担額(市税負担額)は、約200億円という説明が繰り返し行われてきましたが、幸野市議の資料請求により、これまで実際にかかっていた、あるいは今後かかる市民の負担の総額は**463億円超だった**ということが明らかになりました。

(A)これまで説明されてきた市民の負担額(単位:百万円)

項目	額
①一般財源合計額	8,951
②地方債合計額	10,725
③利子償還額	0
市民の負担総額 ①+②+③	19,676

(196億円)

(B)今回明らかになった実際にかかる市民の負担額(単位:百万円)

項目	額
①一般財源合計額	17,003
②地方債合計額	25,184
③利子償還額	4,140
市民の負担総額 ①+②+③	46.327

(463億円)

(C)これまでの説明に含まれていなかった市民の負担額(単位:百万円)

項目	額
①一般財源合計額	8,052
②地方債合計額	14,459
③利子償還額	4140
市民の負担が増えた額 ①+②+③	26,651

(266億円)

※2012年3月市議会に提出された資料より

※2014年12月市議会で幸野市議が求めた資料より

※(B)-(A)【①②③】

市民の負担額が増えた原因

- ①これまで説明されてきた資金計画には、職員の人件費が一切含まれていなかったため
- ②これまで説明されてきた資金計画には、地方債の利子償還額が一切含まれていなかったため
- ③これまで説明されてきた資金計画には、先行買収した土地や建物の金額について、地価が下落した時点(最終は2012年5月13日)での計上額になっており、実際にかかっている金額より小さく計上しているため

金額

4,138	(一般財源分)
4,140	(利子償還分)
<hr/>	
18,373	(一般財源・地方債分)
26,651	(上記すべて)

※注意

何か大きな事象によって市民の負担額が急増した訳ではありません

これまで実際にかかっていた、あるいは今後かかる費用について、資金計画に含まれていなかった市民の負担分を明らかにしたものです

